

# 愛媛果試第48号(商標:紅プリンセス)の品種特性

愛媛果試第48号は、3月～4月の柑橘品種が少ない時期に出荷できる愛媛県オリジナル品種。凍害を受けない地域・栽培法が前提で、樹勢が旺盛で生産性が高く、高品質のため、新品種として期待されている。

## 来歴

♀愛媛果試第28号(紅まどんな) × ♂甘平

## 品種特性

- ◆果実は250g程度の短卵型
- ◆果皮は赤みの強い橙色で薄くて剥きやすい
- ◆じょうのう膜は薄く、肉質は柔軟多汁
- ◆種子なし

## 成熟期

3月中旬～4月  
(糖度13度、クエン酸1%程度)

## 登録状況

出願公表(2019年8月30日)

## 商標(愛媛県)

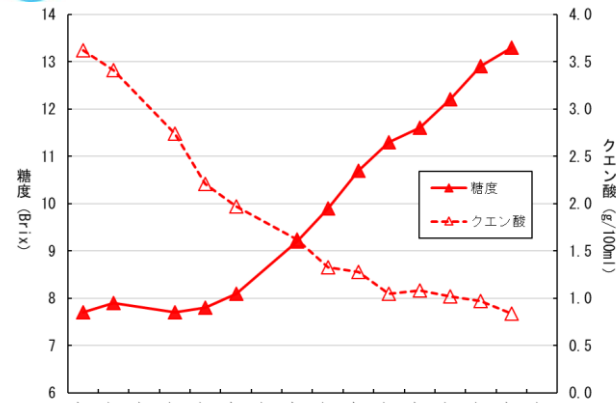
商標名:紅プリンセス

主な使用基準

■糖度12度以上	■クエン酸1.2%未満
■光センサー必須	■収穫開始3月1日以降
■販売開始3月15日以降	



## 糖酸の推移



‘愛媛果試第48号’の糖酸の推移 (果樹研、H30～R2平均)

○糖度は、3月下旬以降  
概ね12度以上となる  
○クエン酸含量は  
3月上旬までに、  
1.0g/100ml程度となる

## 栽培上の留意点

- ◆かいよう病:罹病性のため、発芽前から防除を徹底する
- ◆ホウ素欠乏:有機質の少ない砂質土壌などで発生する
- ◆日焼け果:夏季に西～南面の果実で発生する
- ◆果皮障害:果梗部のクラッキングが3月上旬頃からみられるため、採收時期に注意する
- ◆す上がり:大果、軸太果で発生がみられる。ネーブル規格のL～2L主体の着果管理が望ましい

